

# 鉄道高架、いまだに決まらないバス専用道路の線形!?

## 駅手前で鋭く曲がるL字型の1案 西側のロイヤルインの前を通る2案

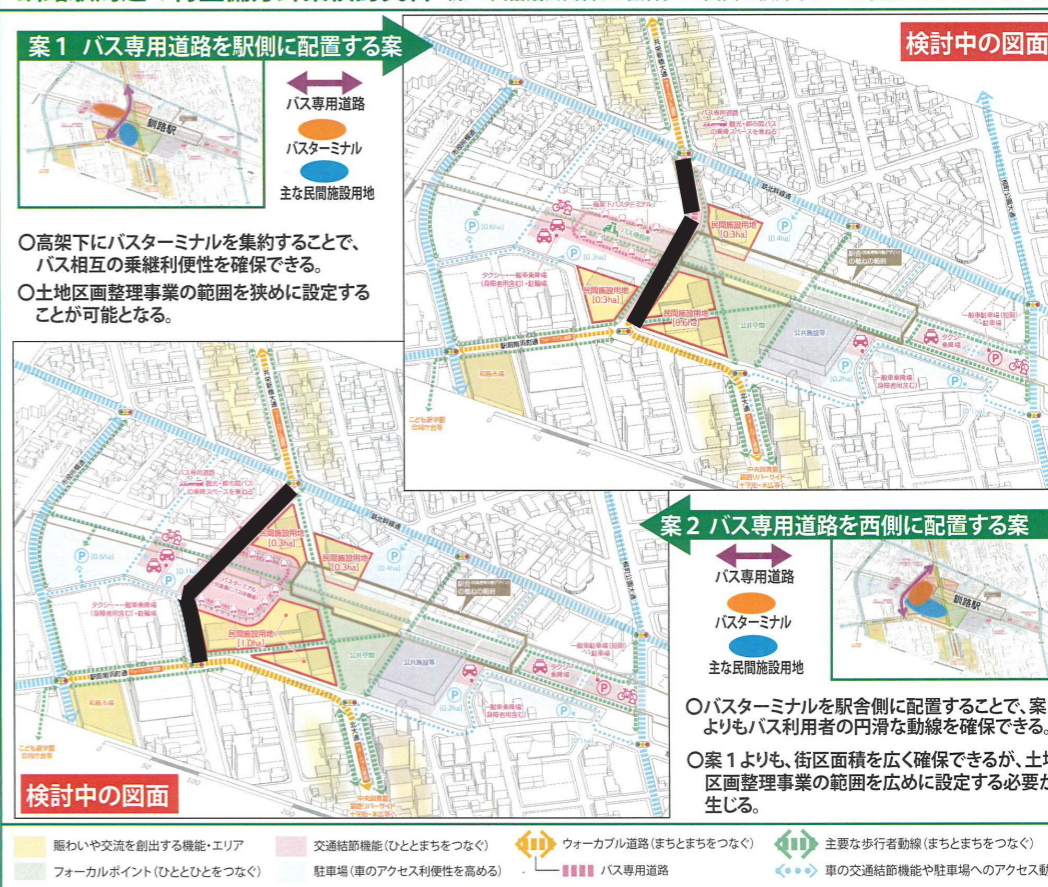
決定時期すら示せなくて大丈夫?

わき目もふらず「鉄道高架」を進める蝦名市政。でも市民の賛成の声は広がりません。それどころか、肝心の計画の骨格の一つが決まらずに、混乱しています。それが駅前の「通常はバス専用道路として使い、避難時には一般車両も通行可能」とされる道路です。

### 最初は「L字型」を提案

駅の南北を直結すると、通過車両ばかりになって困るということで、最初に提案されたのは、駅前広場のグレース教会あたりで、L字型に北東向きの道路をつけて共栄大通とつなぐ案。しかも、通常はバス専用道路で一般の通行は禁止。これがすこぶる評判が悪くて異論が噴出。それでも市は、駅前には公共交通と徒歩が集まって滞

釧路駅周辺の再整備方針案検討資料 (第12回協議会資料より抜粋。この図面は検討中につき確定したものではない。)



留、回遊するという国の「ウォークアプル構想」に固執して、反対意見に突っ張ってききました。

### 今年になって突然2案目が

しかし、今年の2月に急きよ方針転換。この案だと駅前で渋滞が発生するので、共栄大通につながる道路の起点を、今のロイヤルインの北側に移す「西側案」を提案しました。これなら渋滞緩和になります。ですが事業費が膨らみます。

村上議員が、特別委員会です「いつまでに決めるのか」と質問すると、調査も始まり、道とも十分調整をしてからと答弁。「時期は決まっていなくて」と再質問すると、あっさり認めました。しかも、1案、2案以外で決まる可能性にも言及しました。



### ワークショップは見切り発車

昨年までの説明会に続いて、今年もグループ分けして市民のワークショップで、駅前広場を検討します。これでは順番が逆です。

しかもこのワークショップのグループには、「口添え役」を置いて議論をリードしていきます。これも村上議員の質問で、「日

本交通計画協会」の社員が口添え役になります。この団体は市の鉄道高架事業のコンサルタントとして、実質的に市の鉄道高架の案を仕上げてきた団体です。

賛否両論があつて当たり前。まへの市民の議論が、特定方向に進む心配があります。

村上かずしげ通信 23.7.2